



“主イエスの名によって”

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

2014/8/24

コロサイの信徒への手紙3:16~17

キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。

そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。

キリストに住んで頂くために

- 「キリストの言葉を宿す」とは、「キリストがありありと臨在される」こと
 - 「言葉(ロゴス)」は知恵・真理・人格などを表す
- 「知恵を尽くして互いに教え、諭し合」う
 - 互いに教え(+)諭す(-)ことにより、一人ではできない成長がある<キリストのようになる>
- 「詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえ」る
 - 神であるキリストは、賛美を住まいとされる

名によって行う

「何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。」

- 。「あなたの神、主を畏れ、主にのみ仕え、その御名によって誓いなさい。」＜申命記6:13＞
- 。「そのとき、主はレビ族を選び分けて、主の契約の箱を担ぎ、主の御前に立って仕え、主の名によって祝福するようにされた。」＜申命記10:8＞
- 。「わたしはお前が挑戦したイスラエルの戦列の神、万軍の主の名によってお前に立ち向かう。」＜サムエル上17:45＞
- 。「命のある限り、あなたをたたえ／手を高く上げ、御名によって祈ります。」＜詩篇63:5＞

「名前によって」

- 日本語にはない表現
 - 「名にかけて」「名を汚す」「名を残す」
- 「名（前）」とは、**その人本人**のこと
 - 「名」はその人の名誉・権威・威光・力などを代表している
 - 「主の名によって誓う」：主を畏れ敬って
 - 「主の名によって祝福する」：主の威光を帯びて
 - 「主の名によって立ち向かう」：主の力を借りて、主の名誉のために
 - 「御名によって祈る」：主の慈愛に頼って

イエス・キリストの御名

- 「彼らに父と子と聖霊の**名によって洗礼を授け…**」＜マタイ28:19＞
- 「わたしの**名によって願う**ことは、何でもかなえてあげよう。」＜ヨハネ福音書14:13＞
- 「ペトロは言った。「…ナザレの人イエス・キリストの**名によって立ち上がり…**」＜使徒3:6＞
- 「この方を信じる者はだれでも**その名によって罪の赦しを受けられる、**」＜10:43＞
- 二人または三人が**わたしの名によって集まる**ところには、わたしもその中にいるのである。
＜マタイ18:20＞
- その場にはいないが、同等の意味を持つ

呼び方による違い？

- 様々な呼び方
 - 「ナザレの人イエス・キリストの名」
 - 「イエスの名」
 - 「イエス・キリストの名」
 - 「主の名」
 - 「主イエスの名」
- 呼び方の違いで効力？に違いはない
 - 「名前」はその人を代表しているだけ
 - どう呼んでも、主イエス・キリストは働いて下さる

すべてを主イエスの名によって

「何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。」

- 「何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを」
 - 日常のあらゆる事柄において。例外なく。
 - 「あなたがたは食べるにしろ飲むにしろ、何をするにしても、すべて神の栄光を現すためにしなさい。」＜コリントー10:31＞
- 「主イエスの名によって行い」
 - いちいち「…の名によって」と言うことではない
 - 私たちはイエス様の弟子として、その**看板を背負っている**。その名誉を傷つけないように！

主イエスの名によって行う時

- 主の御業があらわれる
 - 「どうか、御手を伸ばし聖なる僕イエスの名によって、病気がいやされ、しるしと不思議な業が行われるようにしてください。」使徒4:30
- 「イエスによって、父である神に感謝しなさい。」
 - 感謝は「名によって行っている」ことの表れ

自分の利益や名声のためではなく、**イエス・キリストの栄光と名誉のために**何事も行おう！